



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~sakurada/cms2/htdocs/>

全国学力・学習状況調査結果の概要について ～6年生～



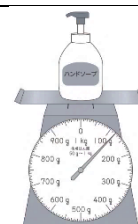
1 全国平均(6年生)との比較

6年生：国語科は全国平均をやや下回り、算数科、理科は下回る結果となりました。

2 問題別の分析結果と課題

+-は全国平均との差

教科	強み	弱み
【国語】	○漢字を文の中で正しく使うことができる。 ○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。 (+ 1.1) ○話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができる。 (+ 9.6)	●図表などを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが苦手 (-6.8) ●目的に応じて文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見つけることが苦手 (-12.5)
【算数】	○少数の足し算(+3)やコンパスを用いた平行四辺形の作図(+4.2)ができる。	●棒グラフから項目間の関係を読み取る(-14.1)やはかりの目盛りを読むことが苦手 (-15.1)
【理科】	○氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解している。 (+1.6)	●乾電池2個のつなぎ方と電磁石の強さの関係の理解が十分でない。(-19.7)



3 家庭生活・生活習慣に関わって～児童・生徒質問紙からみられる特徴～

「自分にはよいところがあると思う。87.5(全国86.9)」「人の役にたつ人間になりたいと思う。100(全国96.4)」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。91.7(全国81.3)」のように自己肯定感に関する意識が高いといえます。

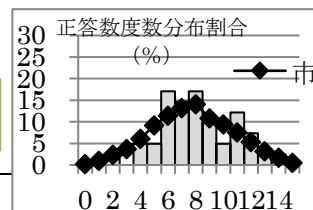
また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。100(全国97.2)」「人が困っている時は、進んで助けていますか。97.9(全国93.7)」のようにいじめをゆるさず、他者を大切にしようとする姿が見られます。

さらに「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。97.9(全国93%)」も肯定的な回答が多く、子どもたちが安心できる環境が整っていることがわかります。

一方で「国語の勉強は得意ですか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」は全国平均を上回っていますが「国語の勉強が好きですか54.1%(全国58.3%)」は下回っており算数科も同様の傾向でした。各教科、各単元の面白さを明確にし、学びたくなるような課題を工夫したり、学びと生活とを結び付けたふり返りをさせたり、自己選択できるような授業づくり進めていきたいと考えます。



みえスタディ・チェック結果の概要について ～4・5年生～



5年生：国語科、算数科、理科ともに市の平均正答数をやや上回りました。

教科	強み	弱み
【国語】	○漢字やローマ字を正しく書くことができる。 ○登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりをとらえることができる。	●主語と述語の関係を捉えることが苦手 ●目的に応じて調べたことを整理することは得意ではない。
【算数】	○四捨五入について理解している。 ○重さの感覚を身に着けている。 ○角の大きさを理解している。	●表の中の数が表す事柄を2つの項目と単位に着目して読み取り、その内容を記述することが苦手
【理科】	○実験結果を基に、水のあたたまり方を考察して分析することができる。	●乾電池のつなぎ方と電流の強さや向きとの関係を、検流計の針の振れ方に適用し、考察することが苦手

4年生：国語科、算数科ともに市の平均正答数をやや上回りました。



教科	強み	弱み
【国語】	○文の中における主語と述語との関係をとらえることができている。	●話し合いの内容を正確にとらえてまとめることが苦手
【算数】	○繰り下がり減法や整数の乗法など計算ができる。 ○分数の意味を理解している。	●除法を用いて、何倍かを求めることが苦手

「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる(5年生100、4年生94.5)」
「友達と協力するのは楽しい。(5年生95、4年生91.9)」など肯定的回答が高く、子ども同士の関係性がよいと考えられます。また「わからないことや知りたいことがあった時、先生に聞いたり本やパソコンで調べたりできる。(5年生95、4年生89.2)」
「自分が取り組んでいることを楽しみながら前向きに取り組むことができる。(5年生97.5、4年生91.9)」も肯定的で前向きな姿が見られます。

今後の指導の工夫・改善

今回の結果を受けて、夏休みの校内研修会で分析を行い、弱みを改善するための授業づくりについて協議し、次のことを確認しました。

- ・思考スキル(「比較する」「関連付ける」「理由づける」「具体化する」…など考えるための技法)を意識した授業づくりを行う。
- ・他学年との系統性を考え、単元のおもしろさを明確にしながら授業を行う。
- ・授業が楽しいと感じられるような課題を設定したり、解いてみたいと思えるような提示の仕方を工夫したりする。
- ・自ら学ぶ力や学習内容の定着を図るために自主学習「プラスワン」の取り組みを充実させる。また、取り組み内容を校内に掲示し、子どもたちが工夫や内容を共有できるようにする。
- ・ミライシードを活用し、学習内容の定着を図る。また、AIドリルでそれぞれに合った課題にも取り組ませる。…など

学びの秋です。教職員による授業公開や授業研究会も行っています。教職員がお互いの授業を見合い、ねらいや課題、発問は適切か、子どもにとってわかりやすい授業になっているかなどを振り返りながら、授業改善を行い、「確かな学力の向上」に努めます。

